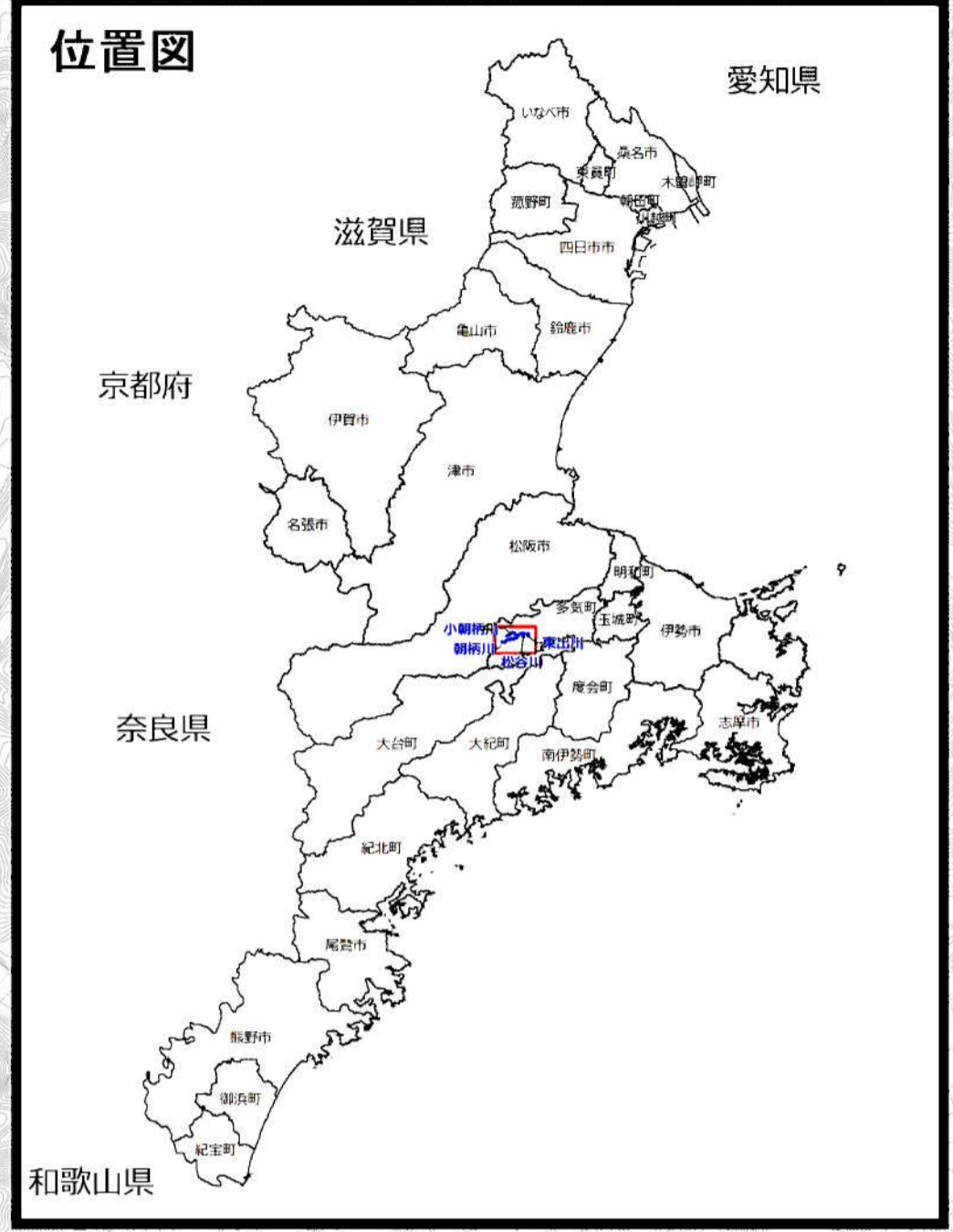
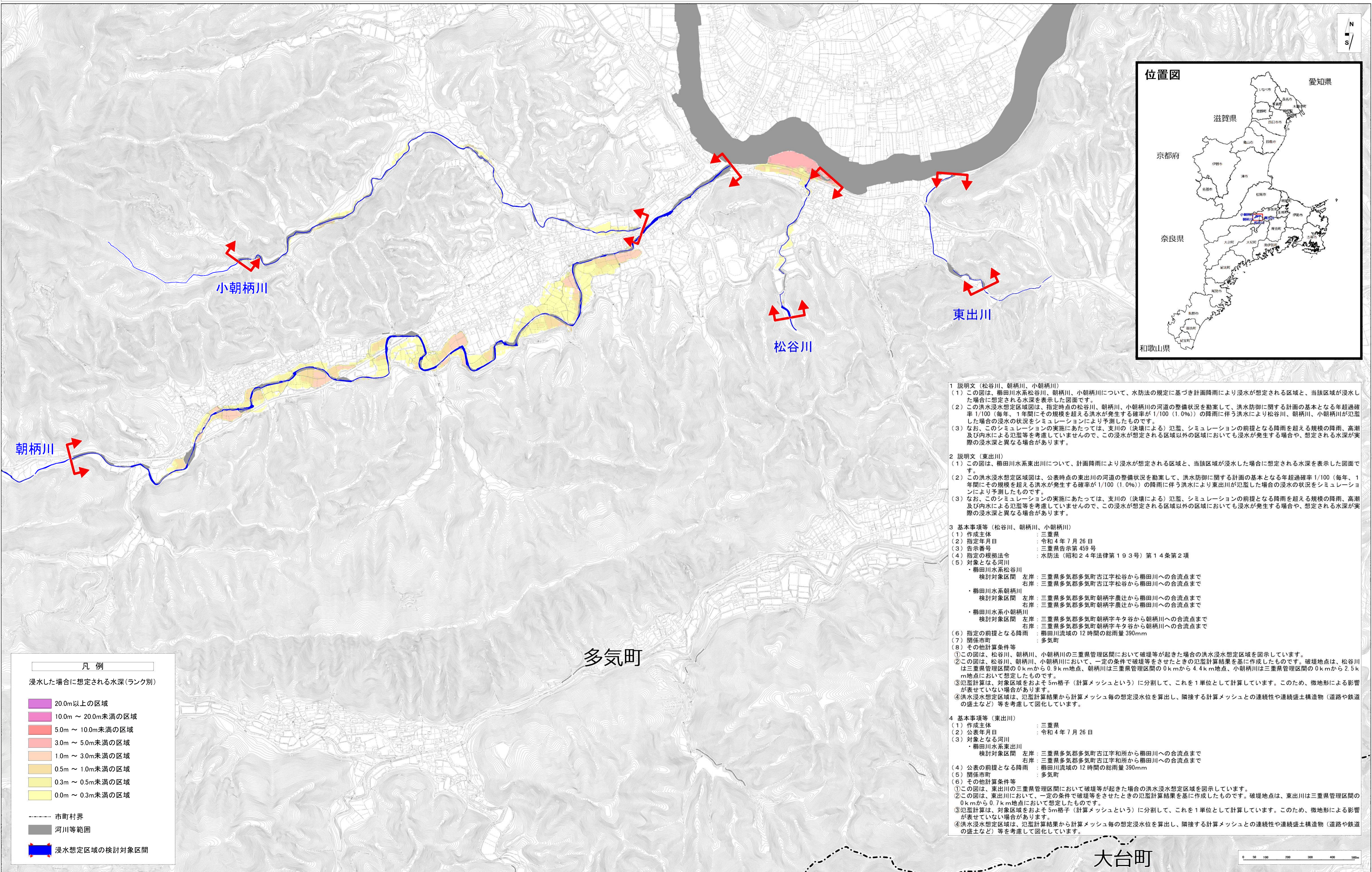


# 櫛田川水系東出川・松谷川・朝柄川・小朝柄川 洪水浸水想定区域図（計画規模）



**1 説明文（松谷川、朝柄川、小朝柄川）**  
 (1) この図は、櫛田川水系松谷川、朝柄川、小朝柄川について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、指定時点の松谷川、朝柄川、小朝柄川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.0%））の降雨に伴う洪水により松谷川、朝柄川、小朝柄川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**2 説明文（東出川）**  
 (1) この図は、櫛田川水系東出川について、計画降雨により浸水が想定される区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。  
 (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の東出川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.0%））の降雨に伴う洪水により東出川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。  
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

**3 基本事項等（松谷川、朝柄川、小朝柄川）**  
 (1) 作成主体 : 三重県  
 (2) 指定年月日 : 令和4年7月26日  
 (3) 告示番号 : 三重県告示第459号  
 (4) 指定の根拠法令 : 水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項  
 (5) 対象となる河川  
 ・櫛田川水系松谷川  
 検討対象区間 左岸：三重県多気郡多気町古江字松谷から櫛田川への合流点まで  
 右岸：三重県多気郡多気町古江字松谷から櫛田川への合流点まで  
 ・櫛田川水系朝柄川  
 検討対象区間 左岸：三重県多気郡多気町朝柄字農辻から櫛田川への合流点まで  
 右岸：三重県多気郡多気町朝柄字農辻から櫛田川への合流点まで  
 ・櫛田川水系小朝柄川  
 検討対象区間 左岸：三重県多気郡多気町朝柄字キタ谷から朝柄川への合流点まで  
 右岸：三重県多気郡多気町朝柄字キタ谷から朝柄川への合流点まで  
 (6) 指定の前提となる降雨 : 櫛田川流域の12時間の総雨量390mm  
 (7) 関係市町 : 多気町  
 (8) その他計算条件等  
 ①この図は、松谷川、朝柄川、小朝柄川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。  
 ②この図は、松谷川、朝柄川、小朝柄川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、松谷川は三重県管理区間の0.9km地点、朝柄川は三重県管理区間の0.4km地点、小朝柄川は三重県管理区間の0.4kmから2.5km地点において想定したものです。  
 ③氾濫計算は、対象区域をおよそ5m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。  
 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。

**4 基本事項等（東出川）**  
 (1) 作成主体 : 三重県  
 (2) 公表年月日 : 令和4年7月26日  
 (3) 対象となる河川  
 ・櫛田川水系東出川  
 検討対象区間 左岸：三重県多気郡多気町古江字和所から櫛田川への合流点まで  
 右岸：三重県多気郡多気町古江字和所から櫛田川への合流点まで  
 (4) 公表の前提となる降雨 : 櫛田川流域の12時間の総雨量390mm  
 (5) 関係市町 : 多気町  
 (6) その他計算条件等  
 ①この図は、東出川の三重県管理区間において破堤等が起きた場合の洪水浸水想定区域を図示しています。  
 ②この図は、東出川において、一定の条件で破堤等をさせたときの氾濫計算結果を基に作成したものです。破堤地点は、東出川は三重県管理区間の0.4kmから0.7km地点において想定したものです。  
 ③氾濫計算は、対象区域をおよそ5m格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として計算しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。  
 ④洪水浸水想定区域は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水位を算出し、隣接する計算メッシュとの連続性や連続盛土構造物（道路や鉄道の盛土など）等を考慮して図化しています。